

製品名: TRPM7 (15L9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19321**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	213kDa

抗原情報

遺伝子名	TRPM7
別名	ALSPDC; CHAK; CHAK1; LTrpC7; TRPM7;
遺伝子 ID	54822.0
SwissProt ID	Q96QT4
免疫原	ヒト TRPM7 の合成ペプチド

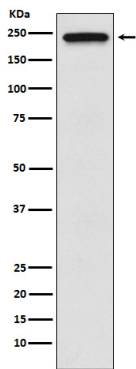
背景

必須イオンチャンネルおよびセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ。カルシウムとマグネシウムを透過する二価カチオンチャンネル。マグネシウムイオンの恒常性維持と無酸素性神経細胞死の調節において中心的な役割を果たします。必須イオンチャンネルおよびセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ。カルシウムとマグネシウムを透過する二価カチオンチャンネル。マグネシウムイオンの恒常性維持と無酸素性神経細胞死の調節において中心的な役割を果たします。カルシウム流入を媒介することにより、MLKL 下流の TNF 誘導性ネクロプトーシスに関与します。キナーゼ活性はチャンネル機能に必須です。細胞の代謝状態に応じて細胞膜の二価カチオンの流れを調整する基本的なプロセスに関与している可能性があります。アネキシン A1 (ANXA1) をリン酸化します。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の TRPM7 発現のウェスタン プロット分析。